

業種別職業能力開発体系の構築に関する調査研究

1書名	業種別職業能力開発体系の構築に関する調査研究				
2発行番号	調査研究資料No. 136	3分野	生涯職業能力開発体系	4担当室	在職者訓練開発室

5目的

平成14年度から蓄積されている仕事の体系の「モデルデータ」は、個別企業の規模や地域性及び製造物等によってカスタマイズする必要があります。そこで、職業訓練施設が地元企業に密着した事業主支援を独自に展開するために、具体的な事例の提示及び生涯職業能力開発体系を活用した企業の抱える課題の把握や解決方法を示すことを目的に進めている調査研究です。

6概要

当機構が行っている事業主支援には、在職者訓練や指導員派遣及び施設貸与等といった多くのメニューがあります。これらの支援を効果的に実施するには、企業の抱えている課題を的確にとらえ、適切な解決策を提案することが重要になります。

企業の抱える課題を把握・解決するためのツールのひとつに、「仕事の体系」と「研修の体系」をコンテンツとした『生涯職業能力開発体系』があり、特に、「仕事の体系」は、中小企業等が人材育成において抱えている課題や問題（技能・技術の承継ができない、優秀な人材を確保したい、従業員に目標とやりがいを持たせたい、従業員ごとに必要な研修や研修計画の作り方が分からない等）を解決する一助として、産業団体等の協力を得て、それぞれの業種ごとに「職務」を遂行するために必要な能力要素を洗い出し、団体・企業等が行う能力開発や人材育成等に係る計画を効果・効率的に進めていただくよう整備されています。

本調査研究では、事業主支援の「課題の把握・分析～企画・提案」段階の進め方を提示した『職業能力開発プロデュースガイド』の作成及び『職業能力開発体系を活用した事業主支援業務の展開（指導員研修）』の実施・運営に関する検討を行っています。

【職業能力開発プロデュースガイドについて】

『事業所訪問ガイド（平成25年3月発行）』で紹介している「事業主支援メニューによる具体的な支援方法」として、以下のような項目を示しています。なお、構成は、図1に示すとおりです。

- ①職務分析モデルデータのカスタマイズ方法
 - 個別企業に対応した「仕事の体系」の作成
 - 研修計画の作成方法（訓練カリキュラムモデルデータの分析・整理）
- ②支援の一連の流れの理解、各ステップにおける生涯職業能力開発体系の活用方法
- ③支援メニューを企画・提案する際の提案コンセプト（企画書）の作成例等
- ④具体的な企業へのアプローチ法の紹介（施設の取り組み5事例）

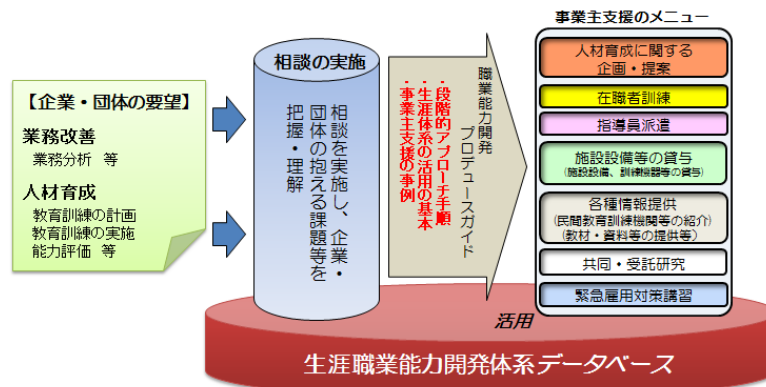


図1 職業能力開発プロデュースガイドの構成

第1章 はじめに

[目的] 事業主支援の重要性を理解する

[内容] ●事業主支援の概要

●機構における事業主支援の位置付け

●「事業主支援のメニュー」の紹介

第2章 段階的アプローチ手順

[目的] 事業主支援の基本サイクルを理解する

[内容] ●企業・団体訪問の流れ（企業と接点を持つ方法、企画書の概要等）

●生涯職業能力開発体系を活用した要望の実現（例）

第3章 職業能力開発体系の活用の基本

[目的] 生涯職業能力開発体系の活用の基本を理解する

[内容] ●生涯職業能力開発体系の概要

●「仕事の体系」の作成方法

●「研修の体系」の作成方法

第4章 事業主支援の事例

[内容] ●事業主支援の事例紹介（5事例）

【職業能力開発体系を活用した事業主支援業務の展開（指導員研修）について】

研修については、以下に示す4つの内容で構成されます（図2）。特に、「何（What）」が企業の課題であり、「どうすればよいか（How）」を考えることを目的としたグループワークに多くの時間を取っています。

①概要：機構における事業主支援の位置付け等

②企業へのアプローチ：事業主支援の基本サイクル、企画書の概要

③生涯体系のフレーム：仕事の体系及び研修の体系の作成法

④グループワーク：事業主支援の一連の流れ

（提案コンセプトの検討⇒仕事の体系の作成⇒研修の体系の作成）



図2 研修の構成

7本書の活用方法

事業主支援を行っていくための基礎資料として活用できます。平成25年3月に発行された『事業所訪問ガイド』と『職業能力開発プロデュースガイド』を併用しながら、効果的な支援が実施できるように期待しています。

注記 本報告書等は、基盤整備センター「職業能力開発ステーションサポートシステム 基盤整備センター刊行物検索」から閲覧、ダウンロードができます。

URL : <http://www.tetras.uitec.jeed.or.jp/>